

---

# 上から降りてくる

クリス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

上から降りてくる

### 【Nコード】

N3956Y

### 【作者名】

クリス

### 【あらすじ】

どたどたと、2階から音がする。

2階から音がする。のたり、のたりって。何か重いものが、こつ、這いずり回ってる感じ。

いくつも、いくつも。そして、だんだん音が大きくなる。数も増えてくる。テンポが速くなる。

どたどた、どたどたって。何か走り回ってるような。でも、もっと気味の悪い、気持ちの悪い音。

足じゃなくて手で、人が四つん這いで走り回ってるような。

手だけで。そう。足じゃないよ、この音。ぺたぺたって、どたどたの間に混じってる。

手のひらを床に着いてるんだ。板張りの床に。だんだん階段の方に近づいてくる。

降りてくるのかな。なんだか寒くなってきた。

階段に着いたみたい。どたどたって音が止まった。代わりにまた、ぺたぺたって音が大きくなる。

ゆっくり、ゆっくり。階段を下りてくる。いやらしいほどゆっくり。長い階段を。

まただんだん早くなる。テンポが。

どたどたって。四つん這いで降りてくる。人ぐらいの重さ。そんな音。

きつと頭を下にして、前向きに。どたどた降りてくる。

階段の方をじつと見る。もうすぐ降りてくる。もう少しで降りきる。角から隠れて見る。

あと少し、あと少し。あと一歩。

ああ、ああ、どうしよう。来る、来る。

あと一歩、きつと見える、次の瞬間、何か醜悪で悪意に満ちた汚らしい何かがある。

あと一歩。そこで止まった。壁が邪魔で見えない。でも、そこにいる。分かる。鼻につく匂い。

腐ったような、むせ返るような匂い。窺っている、こっちを。そこで見た。

壁の影から何か伸びている。突起物。

それもひどく低い位置から。ひび割れ、腐ってグズグズになった指。壁に指をかけた。

1本、2本、3、4、5・・・6・・・7・・・8、9、10・・・  
11本目。

どんどんと、いくつも。指がかかる。指の奥から何か見えた。黒い、

ひどく汚れた、ぼさぼさの髪。

だんだんと、頭を伸ばしている。

ああ、髪の毛の奥から目が見える。こちらを見てる。じっと。黄色い、濁った眼。

そして……。

何かが急に、壁からこちらに伸びてきたと思ったたら……。

視界には黄色い目が広がる。

気を失う寸前、耳に届いた、ひどく嘎れた声。

「いただきます」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3956y/>

---

上から降りてくる

2011年11月10日13時00分発行